

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら保土ヶ谷教室（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 14日		～	2025年 8月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025年 8月 25日		～	2025年 9月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広い 毎回スタッフが多い	広いスペースを活かして、複数のグループが同時に別々の活動を行えるようにしている	より落ち着いて活動ができるよう環境にしてい
2	子どもの話をよく聞いてくれて対応している	聴きっぱなしではなく、「こうしてみようか？」 「じゃあ、こういうのはどう？」と対話的・建設的なフィードバックを意識している	話を聴くから心に寄り添う対応へとつなげる支援をしていく
3	小さな気づきも大事にしている	「表情」「しぐさ」「言葉」など小さな変化に気づく力を大切にしている	定期的な「振り返りミーティング」や検討会などで「見逃しやすいサイン」を共有していくことで気づく力を高めていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラムなどの積極的な設定	保護者や家族側のニーズが読みづらいことで、どれくらい参加したいか。どんな内容なら参加してもらえるかなど不明確	送迎時や連絡帳で個別に声かけし意見の収集を図っていく
2	送迎時にもう少しスタッフとお話したいという意見がある	毎回同じスタッフが送迎を行っていないため、話したいことがある保護者にとって話しかけづらい	送迎時に話きれない内容は連絡帳などで補ったりしながら安心感を提供していく。ご相談がある方はお気軽にご連絡くださいと引き続き伝えていく
3	活動を実際に見学してもらい教室を見ていただく機会の設定	子どもたちの安全やプライバシーに配慮すると、自由に見学させづらい。いつもと変わった教室の雰囲気子どもたちの心の在りようの変化が心配	送迎時や個別面談時に「教室内」の様子を言葉で丁寧に伝えるなど、言葉で雰囲気（空間）を伝える意識をもっていく

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら保土ヶ谷教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 14日 ～ 2025年 8月 18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 8月 25日 ～ 2025年 9月 8日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	いつも明るいイメージ 活動スペースも広い	宿題するなどの活動にも集中できるように席の配置にも工夫している	学びの定着やモチベーション向上につなげる ひとりひとりに目が届くよう支援体制を整えるようにする
2	送迎があると安心でき、助かっている	安心安全の確保や保護者との信頼関係づくりに取り組んでいます	「移動手段」にとどめず保護者との信頼関係づくりの接点として活用することで事業所全体の「安心・安全・信頼感」のレベルアップを図りたい
3	小さな気づきも大事にしている	「表情」「しぐさ」「言葉」など小さな変化に気づく力を大切にしている	定期的な「振り返りミーティング」や検討会などで「見逃しやすいサイン」を共有していくことで気づく力を高めていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラムなどの積極的な設定	保護者や家族側のニーズが読みづらいことで、どれくらい参加したいか。どんな内容なら参加してもらえるかなど不明確	送迎時や連絡帳で個別に声かけし意見の収集を図っていく
2	活動の教室が2階にある	年齢や体力によっては疲れやすく活動への集中力に影響がある 階段での移動中の安全確保に常に注意が必要	昇降指導（ステップごとに目印をつける）などの階段の安全対策の強化や職員の付き添い体制の徹底を引き続き行っていく
3	活動を実際に見学してもらい教室を見ていただく機会の設定	子どもたちの安全やプライバシーに配慮し、自由に見学させづらい。いつもと変わった教室の雰囲気子どもたちの心の在りようの変化が心配	送迎時や個別面談時に「教室内」の様子を言葉で丁寧に伝えるなど、言葉で雰囲気（空間）を伝える意識をもっていく